

# 進路だより



富岡特別支援学校

移行支援部 No.5

令和6年11月6日(水)

**8月23日 第2回PTA施設見学会** 就労継続支援A型事業所と特例子会社で働く方々の様子を拝見し、説明をしていただきました。雇用契約を結び「一般就労」で働くことについて、在学中に身に付けたい力について等、教えていただきました。保護者の皆さんと生徒、教師が共に見学することができました。

● **特例子会社 パーソルダイバース株式会社 とみおか繭工房 妙義**  
(富岡市妙義町中里)

【勤務時間】 8:55~15:55

【仕事内容】 アグリ作業(養蚕業、桑園作業、野菜栽培)・アネックス作業(桑の皮の和紙作り、ノベルティグッズの製作等)の中から、本人の希望と適性に合った作業を組み合わせる。

はじめにナス畑で栽培、収穫等アグリ作業の見学、説明を聞き、次に工房にてアネックス作業を見学しました。見学コンシェルジュを名乗るメンバーさんが、担当している仕事の内容を堂々と説明してくださいました。



● **就労継続支援A型事業所 つばさ富岡** (富岡市一ノ宮)

【勤務時間】 10:00~15:00

【仕事内容】 食品会社から受注した製品の箱詰め、ボールペンの部品の検品等室内作業、施設外就労

作業の中で、数を数えたり、はさみやホチキスを使っての組み立てをしたりする様子が見られました。一人一人が時給分の働きをするために、皆さん集中して手早く作業されていました。



**10月16日 企業採用担当者学校見学会** 近隣の企業や支援機関から大勢のお客様をお迎えし、本校の教育の説明や、高等部作業学習の見学会を行いました。講演会では、株式会社フレッセイで働く本校卒業生と人事教育部の方、群馬障害者職業センターの方より、「障害のある方を雇用するとき大切なこと」についてお話いただきました。また、群馬富岡公共職業安定所の担当の方より、雇用制度の説明をしていただきました。

卒業生Aさんとの一問一答の中から、一部を紹介いたします。

○高等部では「プラスチック製品を作る会社、シクラメンを栽培する会社、フレッセイ富岡店で現場実習をしました。フレッセイ富岡店では、はじめは商品の品出しで、賞味期限を見て並べるのが難しかったです。仕事内容や職場の雰囲気が入りました。職場の方とのコミュニケーションや、お客様への挨拶にだんだん慣れていきました。」

○学生と社会人で違うことは「一つ目は、お給料があることです。初めてお給料をもらったときは、嬉しくて感動しました。お給料で推しのグッズを買いました。」

二つ目は、休まない方が良いと思うようになって、在学時より欠席が減りました。」

○楽しいことは「お客様の対応をすることです。仲良しのお客様ができました。」

○大変なことは「プライスカードの差し替えです。プライスカードを間違えないように商品を探すことが大変です。」

○お客様のために頑張っていることは「笑顔で接客することです。」

○これから働いてやりたいことは「お金を貯めて、推しのライブに行きたいです。」

